

2024/2/22 (木) ゲートシティ大崎 & Webオンライン



【DXの大前提】エンタープライズ アーキテクチャのセオリー



【出版記念講演】

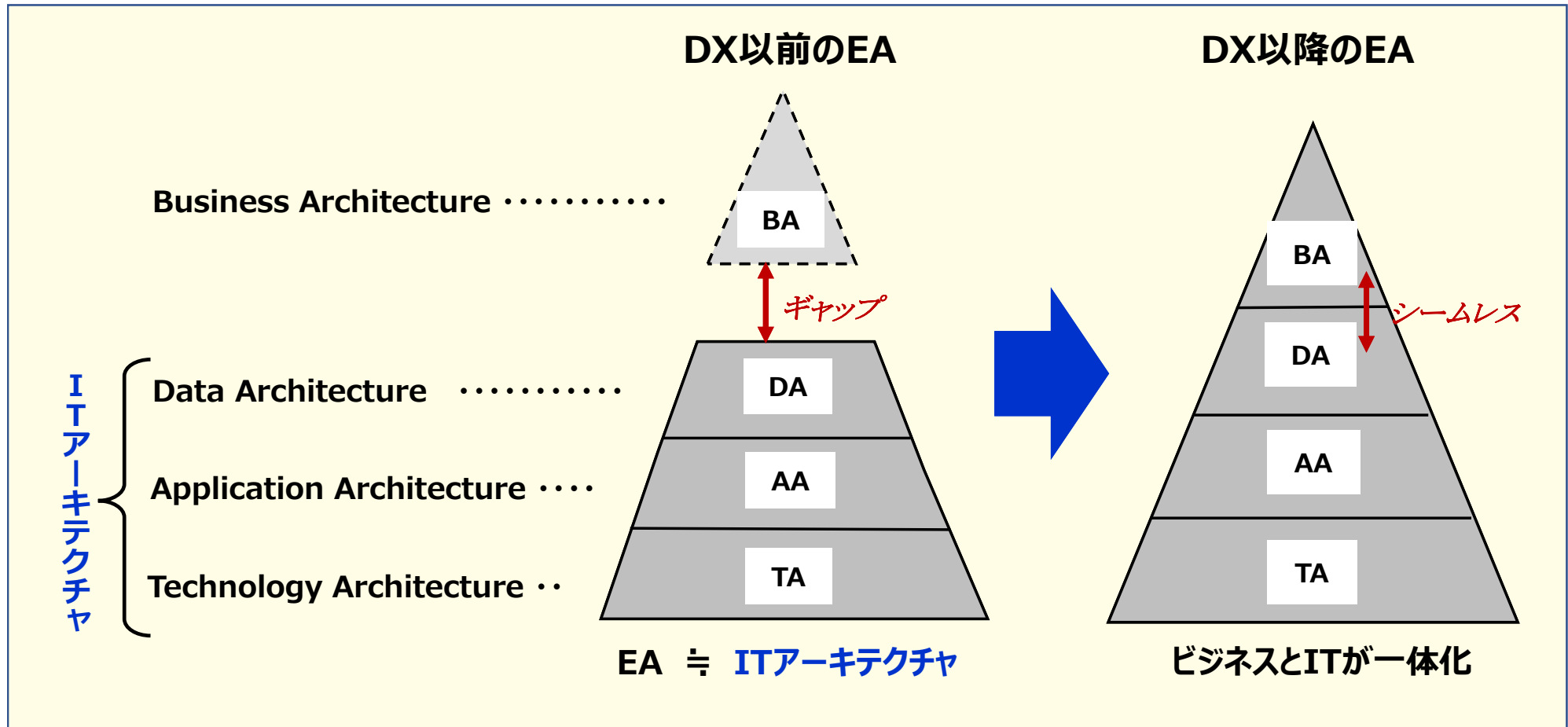
株式会社アイ・ティ・イノベーション AMO室 中山 嘉之

【 1章 ITが主役の時代へ -1 】

企業内IT部門はコストセンターからプロフィットセンターへ

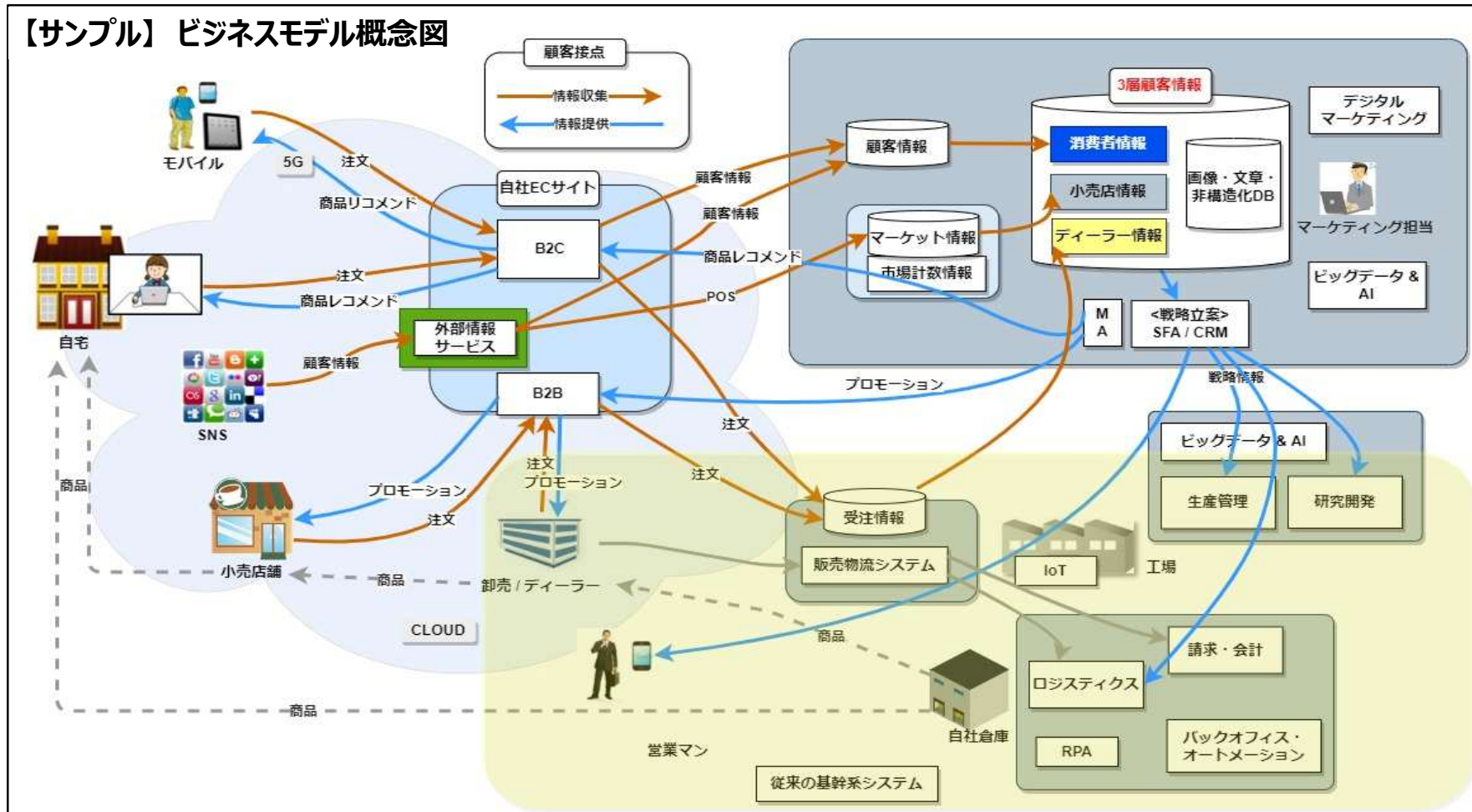
年代	ビジネスへの影響	中心となるIT要素技術
1980年代	<u>情報処理の自動化</u> により コストダウン （人員減）をもたらす	メインフレーム、オフコン、RDB、COBOL
1990年代	<u>情報の再利用</u> により企業活動の スピードアップ をもたらす	DWH、WINDOWS、PC、LAN、C/S
2000年代	<u>情報の品質</u> を高め経営における ガバナンス を支援	ERP、WEB、インターネット、JAVA
2010年代	<u>事業競争力</u> を支援し企業の ケイパビリティ （組織的能力）を高める	EC、SNS、クラウド、アジャイル、GAFA
2020年代	<u>事業のデジタル化</u> を促進し、顧客との関係性を変える（ DX ）	ビッグデータ&AI、IoT、マイクロサービス

DX前／後のEA（Enterprise Architecture）の変化



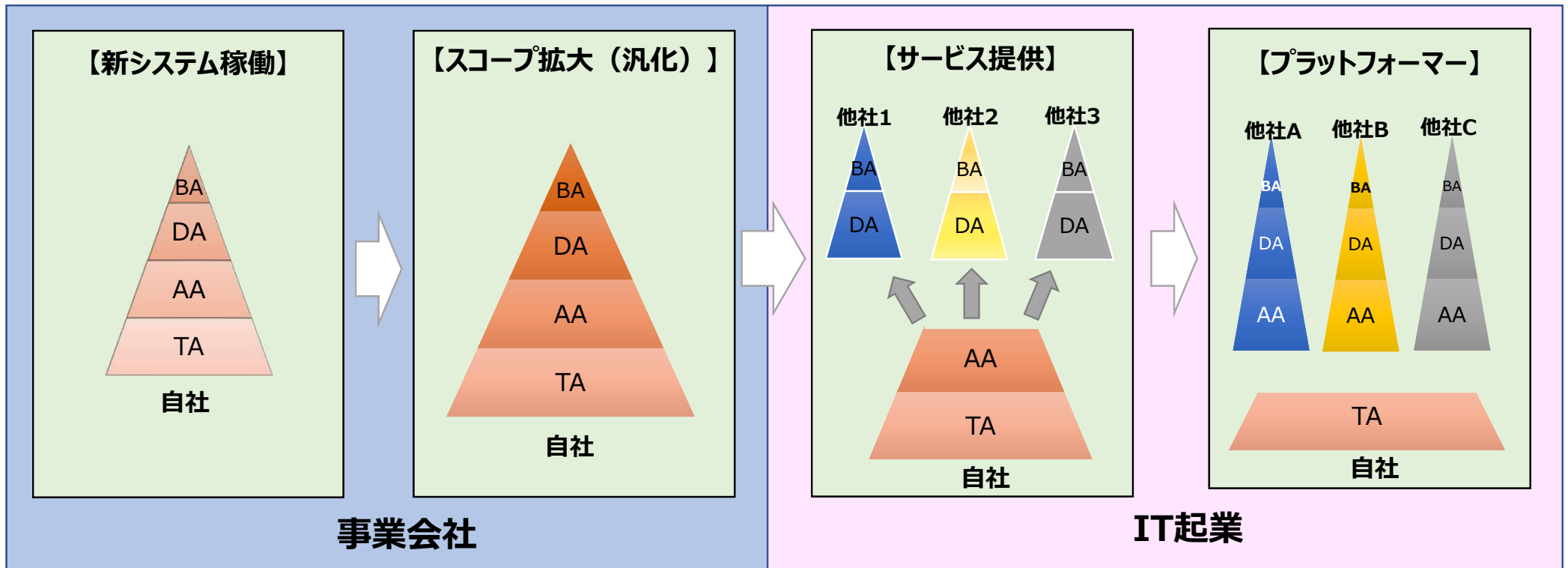
【 2章 ビジネスモデルを創る -1 】

顧客とのデータ授受をビジネスモデル概念図に描く



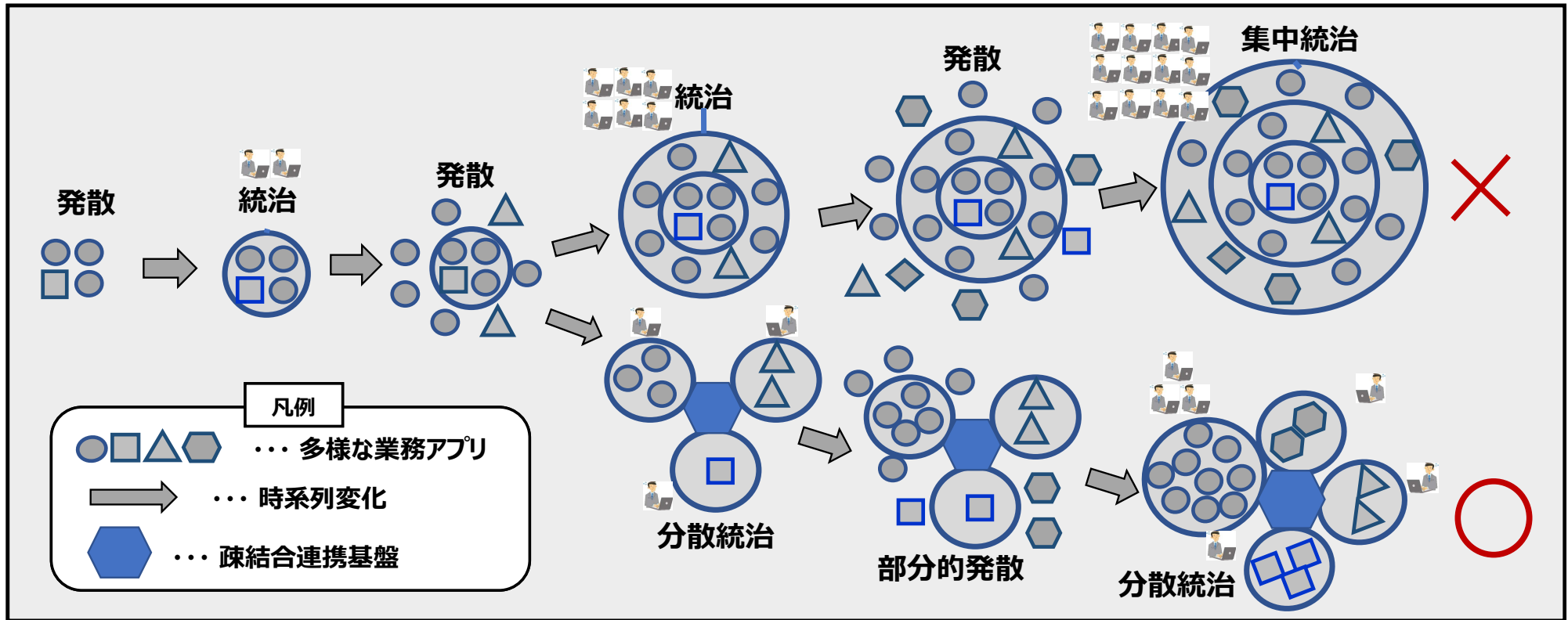
【 2章 ビジネスモデルを創る -2 】

究極は自社の新システムをサービス化（販売）する



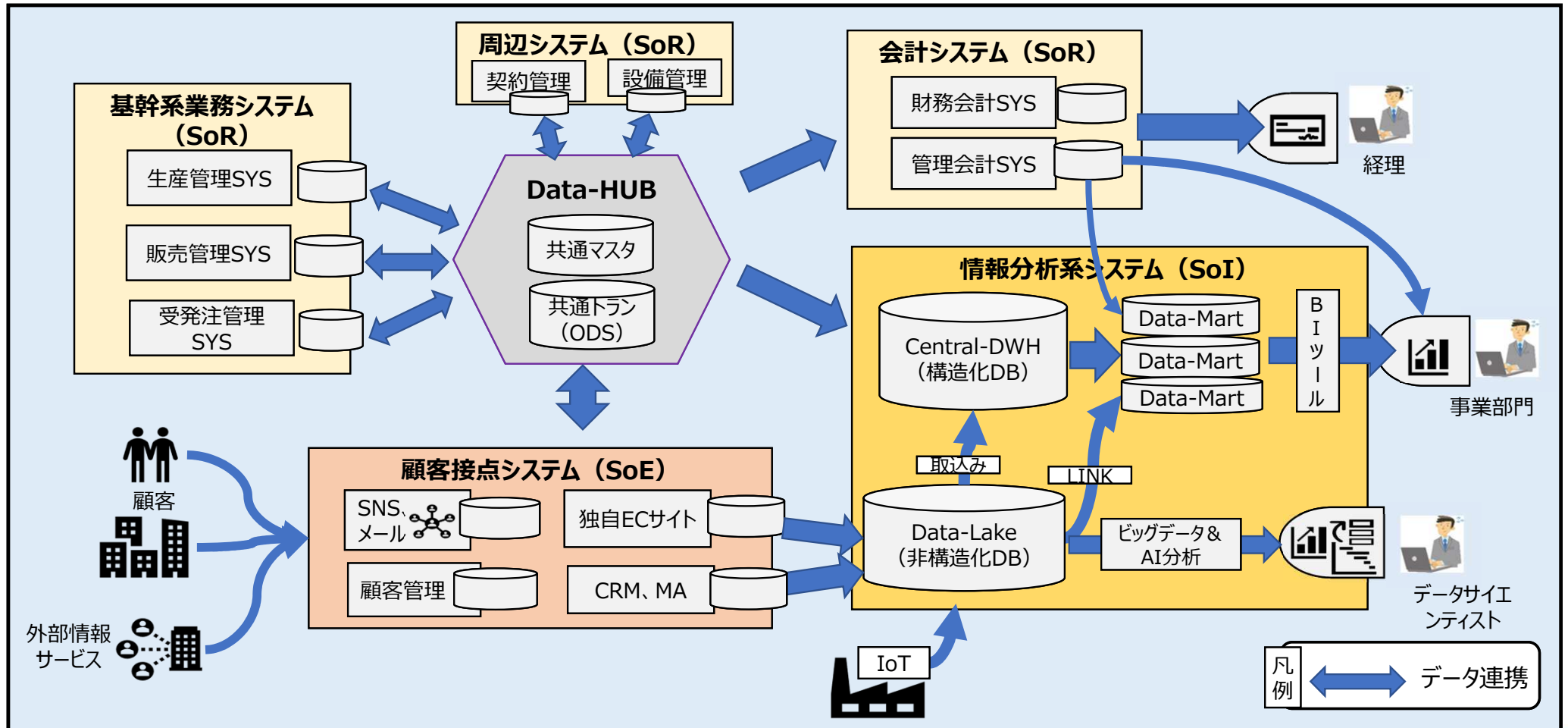
【 3章 これからのEAの姿 -1 】

多様性を維持しながら統治を拡大するには？



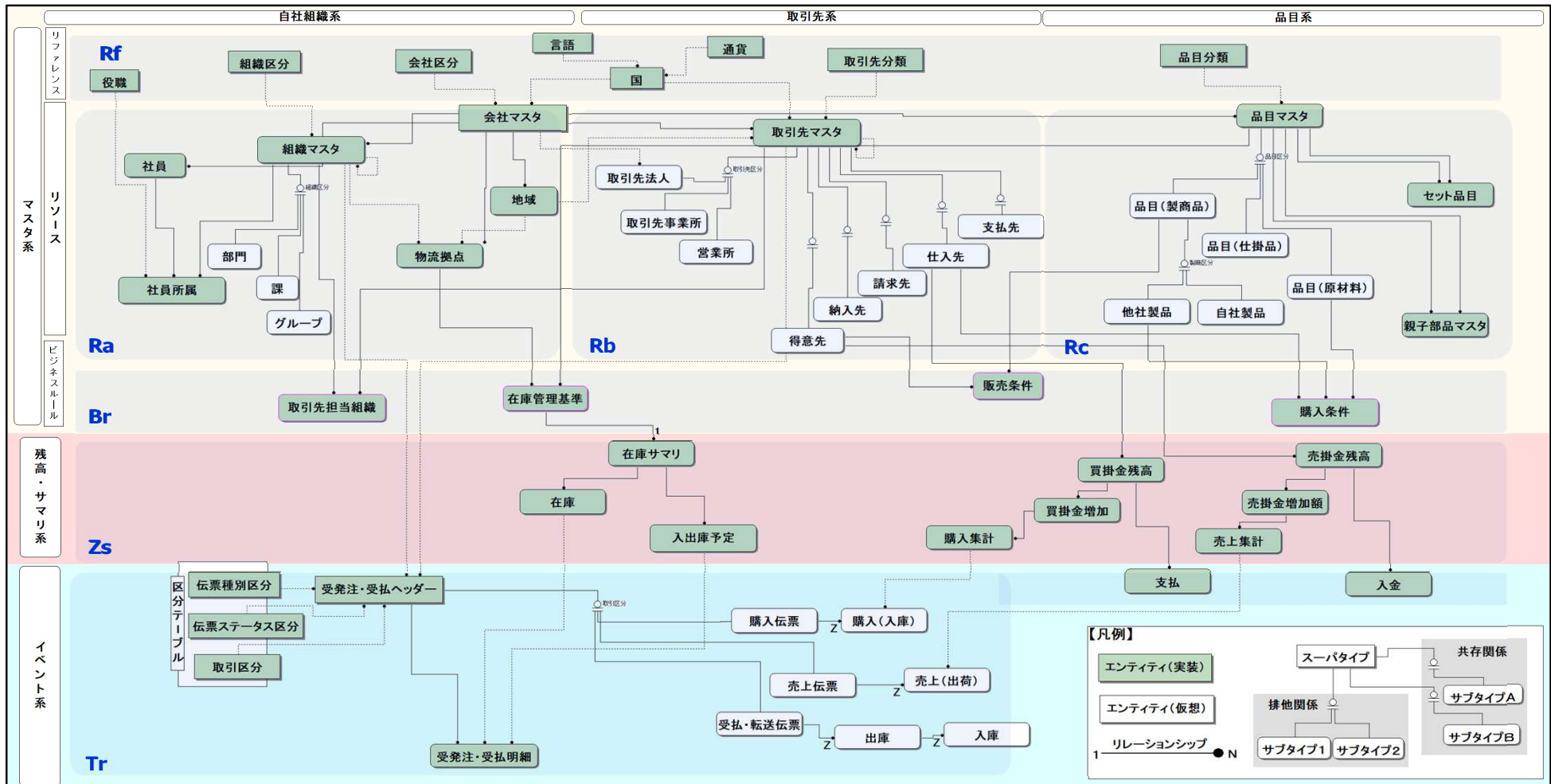
【 3章 これからのEAの姿 -2】

SoRとSoEの融合によりSoIを充実（重複のない美しいデータ連携）



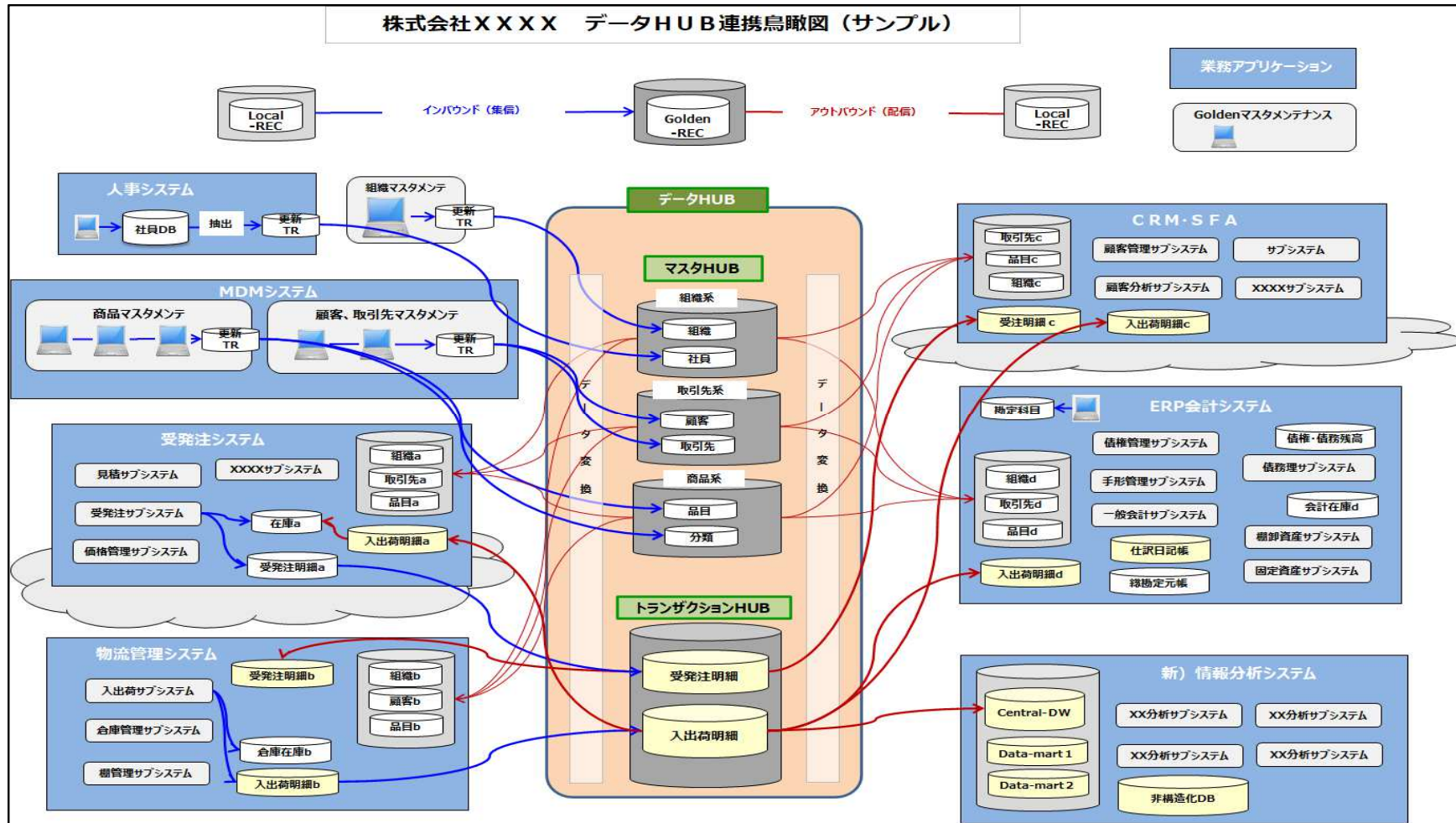
【 4章 複雑なDA、AAの整理 -1 】

はじめにエンタープライズ概念データモデルありき



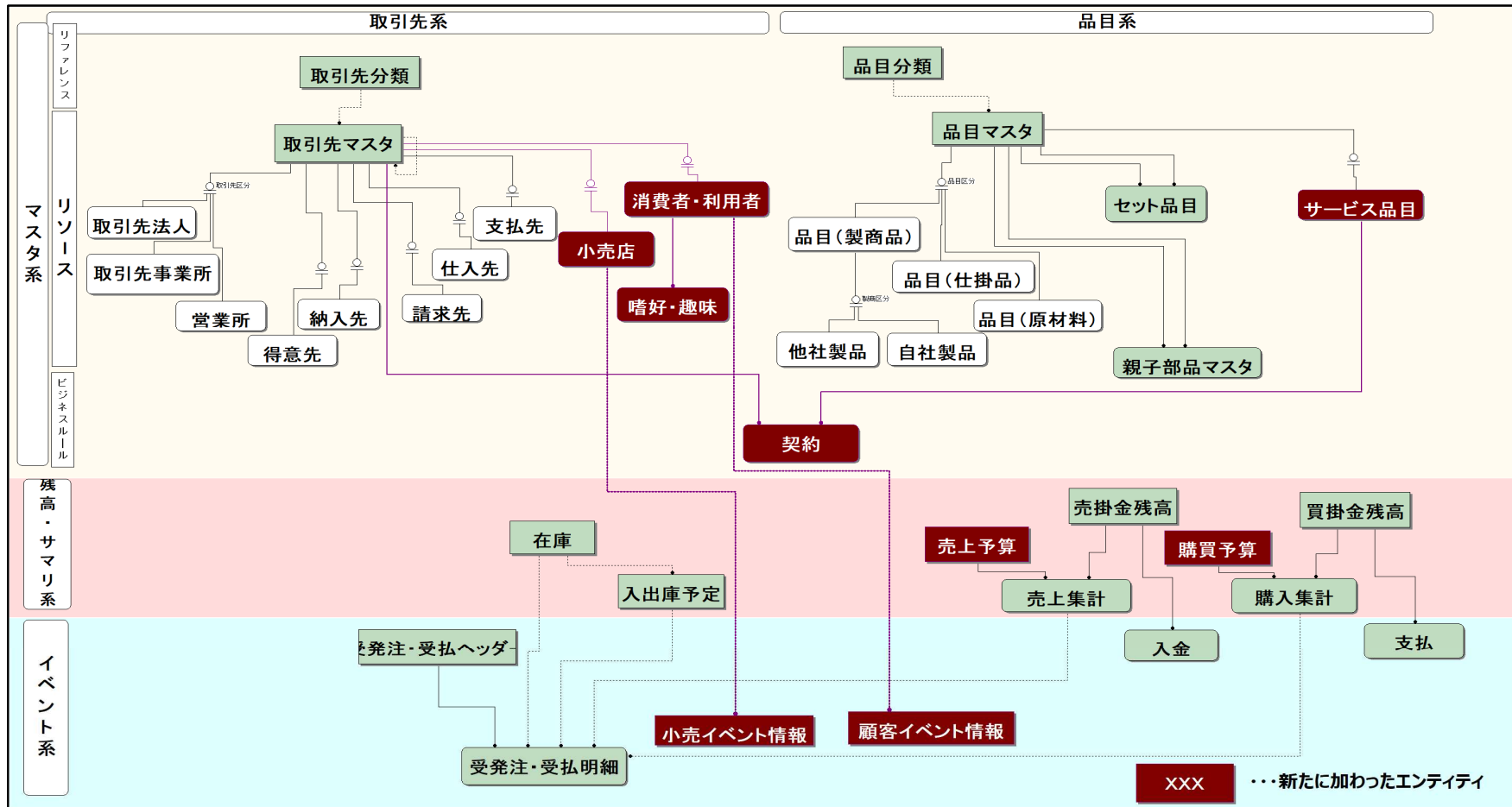
【4章 複雑なDA、AAの整理 -2】

全社アプリケーション鳥瞰図（データHUBによるアプリ間疎結合連携）



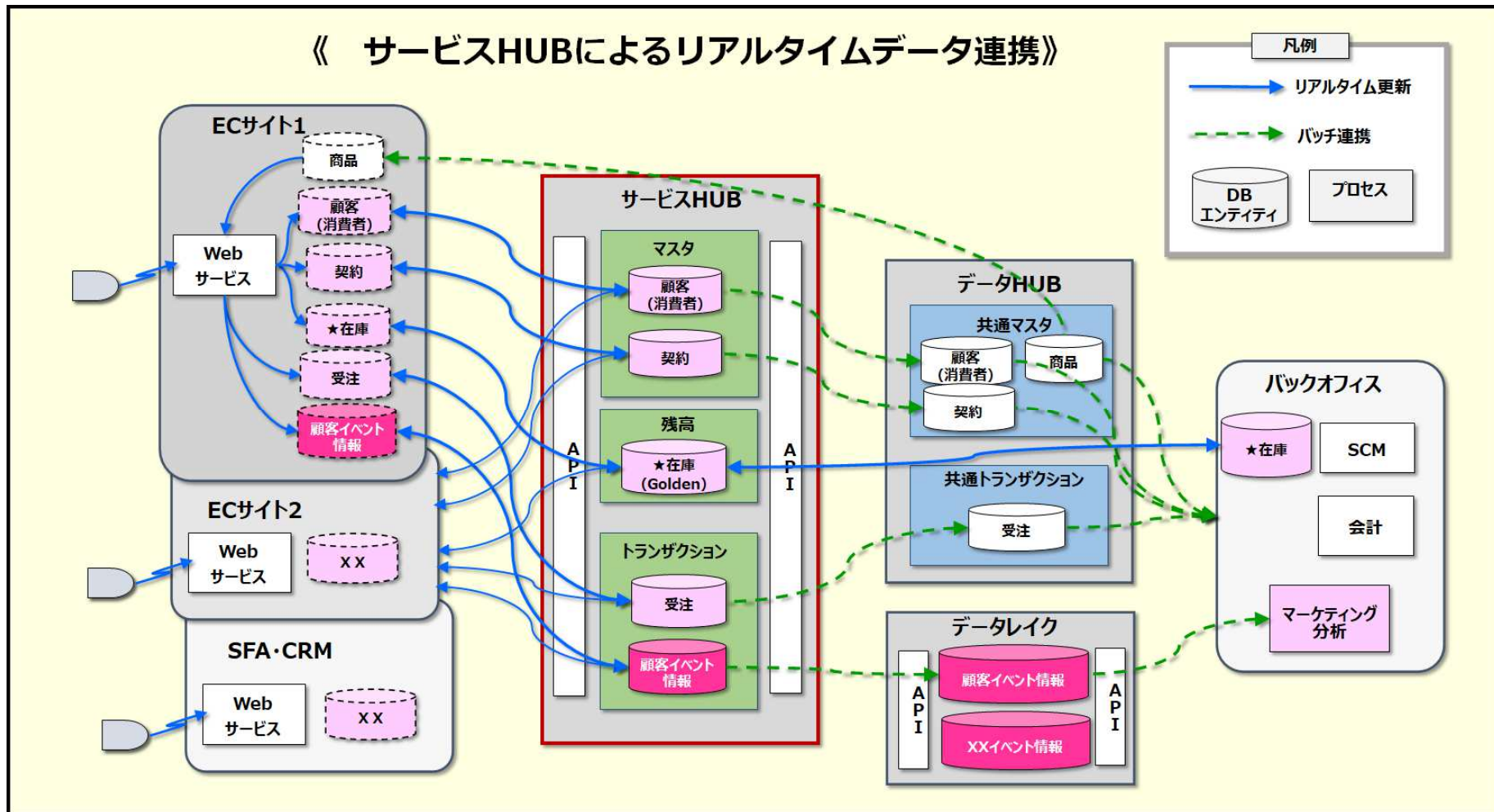
【 5章 DXへのDA、AAの拡張 -1 】

DXに向けた伸びしろをデータモデルに加える



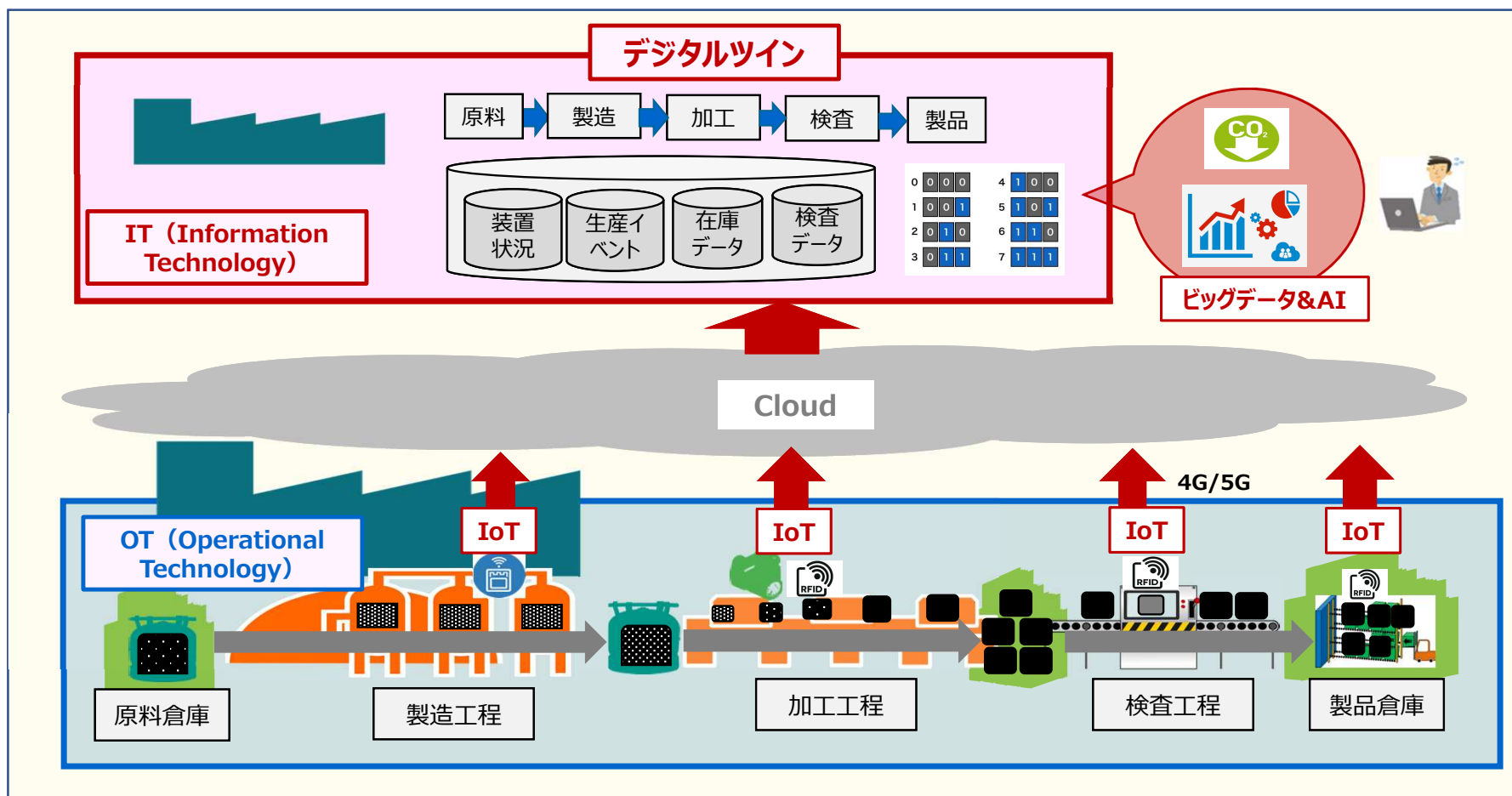
【 5章 DXへのDA、AAの拡張 -2 】

サービスHUBによるフロント・データの統合



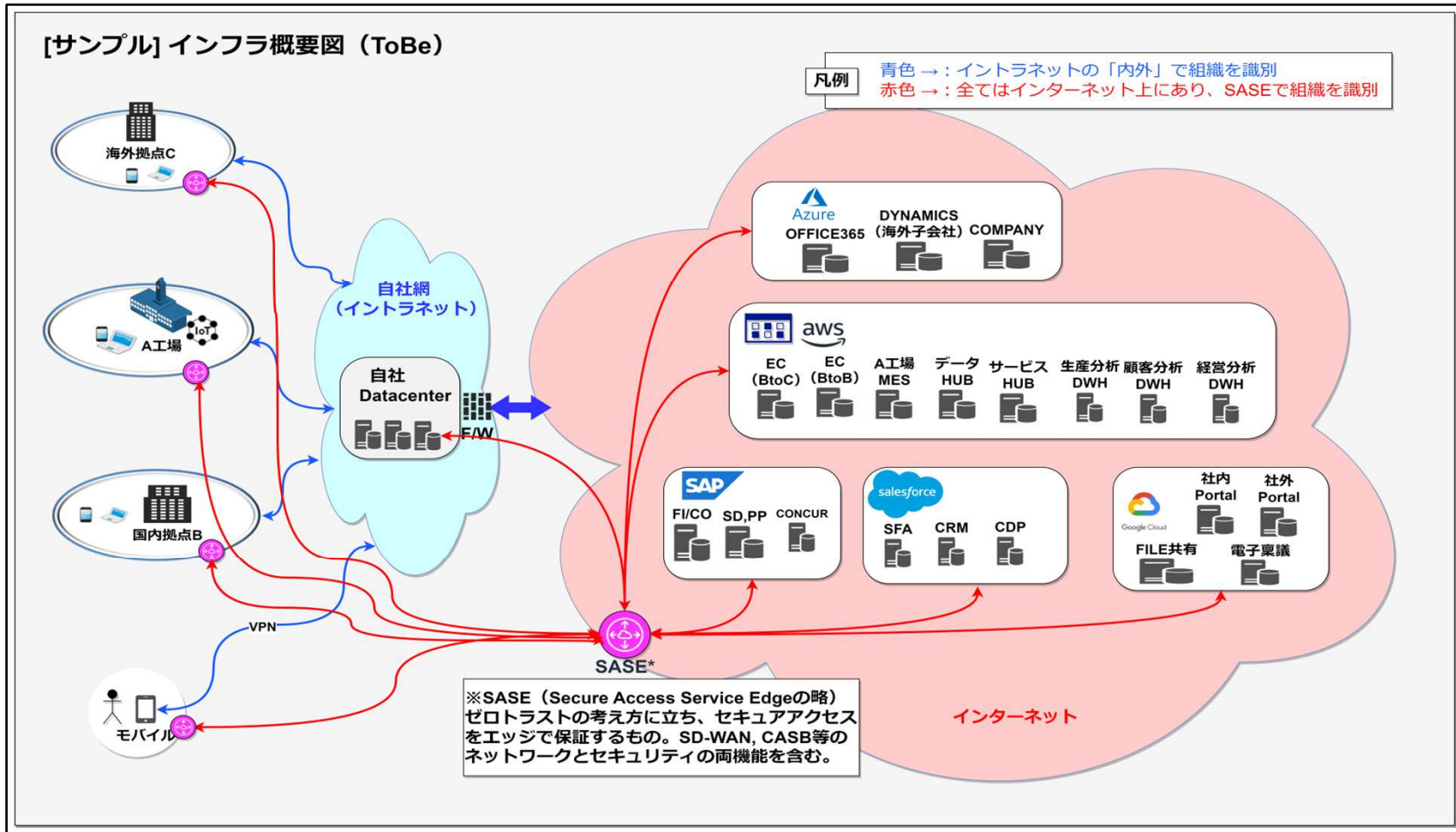
【 6章 止まらないTAの進化-1 】

IoTによるデジタルツインの実現（モノから情報を引き剥がす）



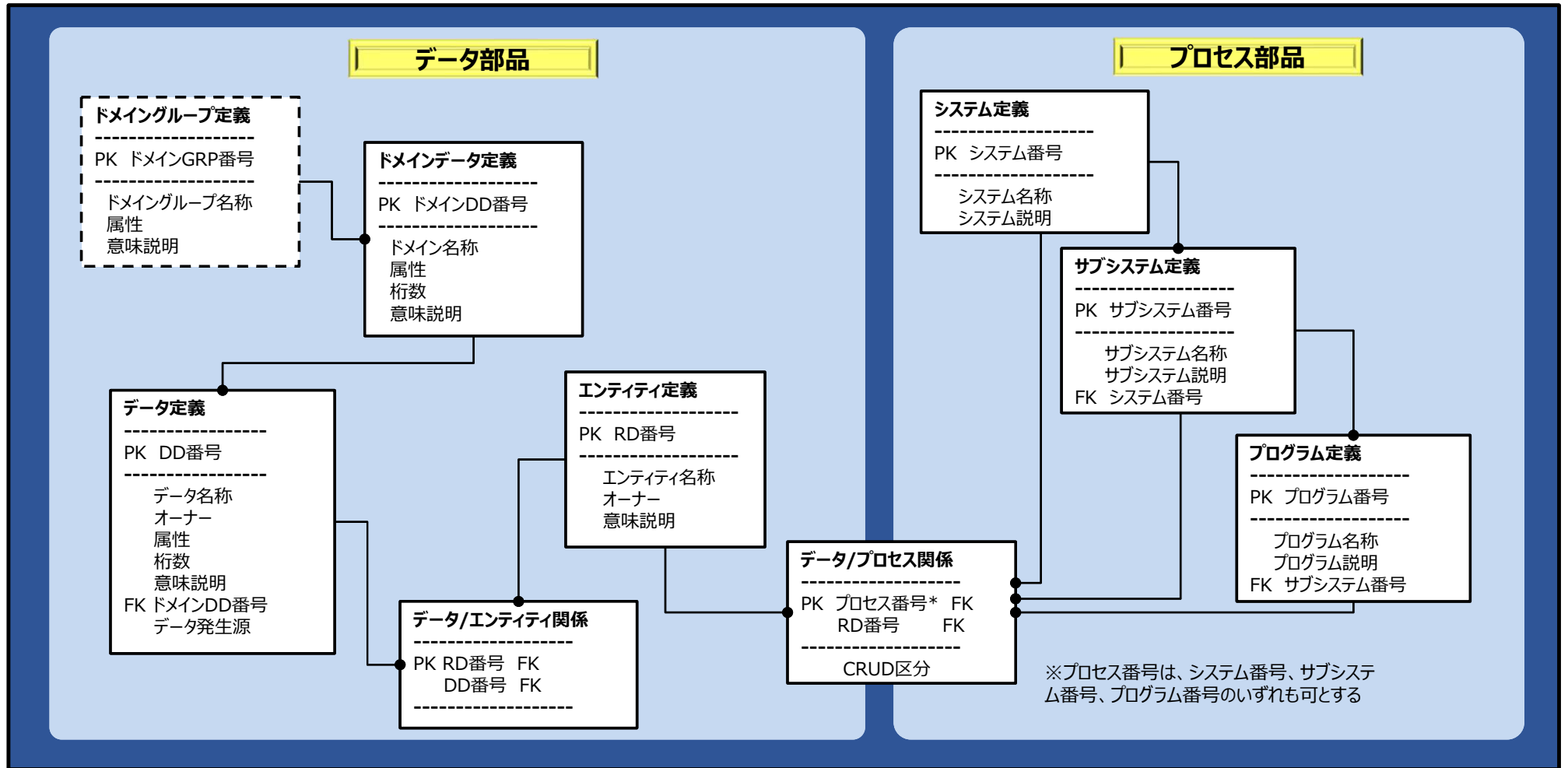
【 6章 止まらないTAの進化-2 】

クラウド時代のネットワーク環境（鎖国から開国へ）



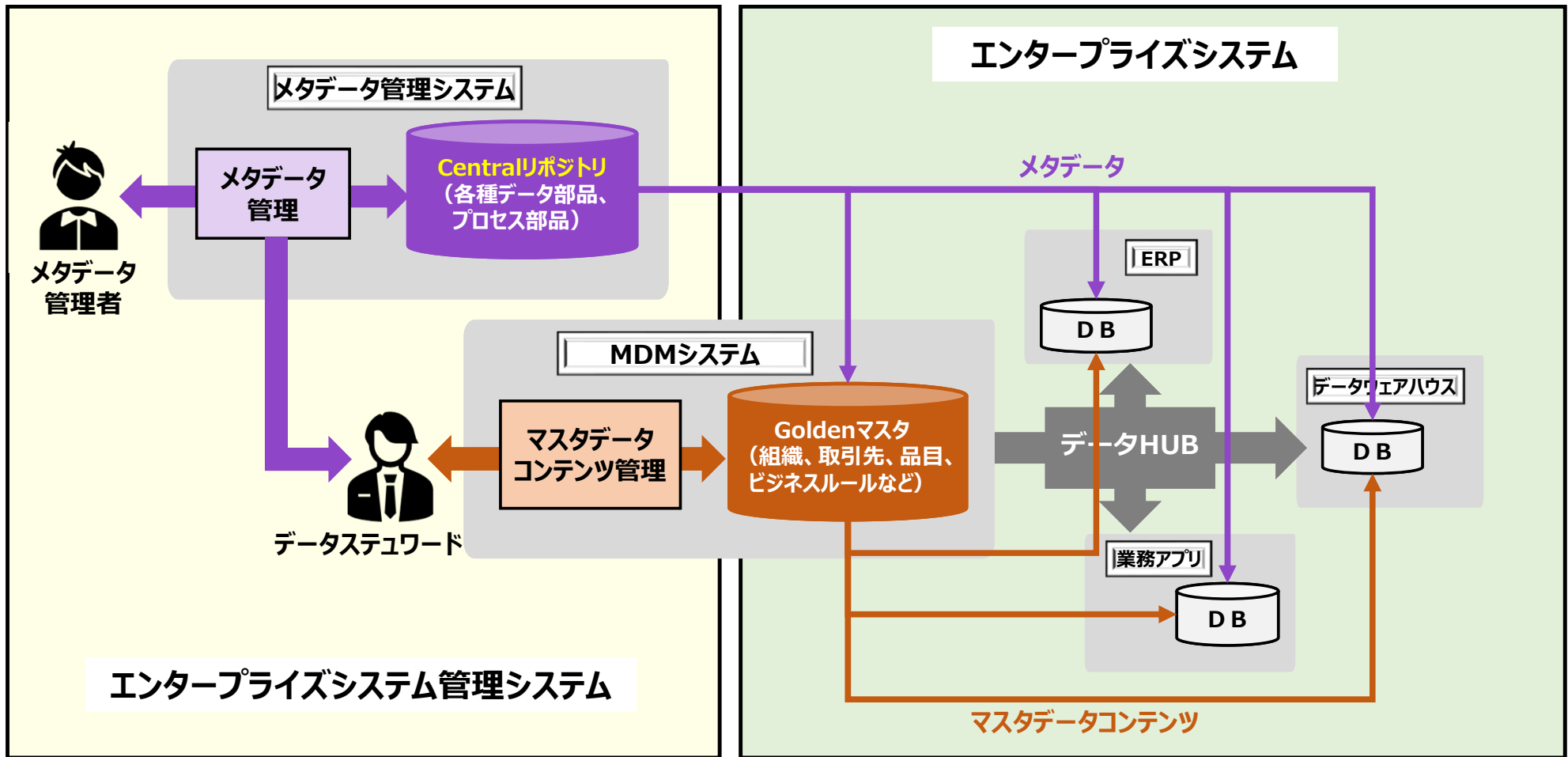
【 7章 メタデータ管理の勧め -1 】

メタデータ管理のデータモデル (データ部品、プロセス部品)



【 7章 メタデータ管理の勧め -2 】

エンタープライズデータ管理（器（うつわ）と中身）



【 8章 EAの移行計画 -1 】

EAの航路図と羅針盤の役割を担う新組織 [AMO*] の新設

※AMO (Architecture Management Office) : アーキテクチャ管理室

プロジェクト	現在	202X年	202X+1年	202X+2年	202X+n年
PRJ-A	→			→	
PRJ-B		→	→		
PRJ-C		→			→

整合性
管理

EA層	現在	202X年	202X+1年	202X+2年	202X+n年
BA	BA (0)	BA (1)	BA (2)	BA (3)	BA (n)
DA	DA (0)	DA (1)	DA (2)	DA (3)	DA (n)
AA	AA (0)	AA (1)	AA (2)	AA (3)	AA (n)
TA	TA (0)	TA (1)	TA (2)	TA (3)	TA (n)

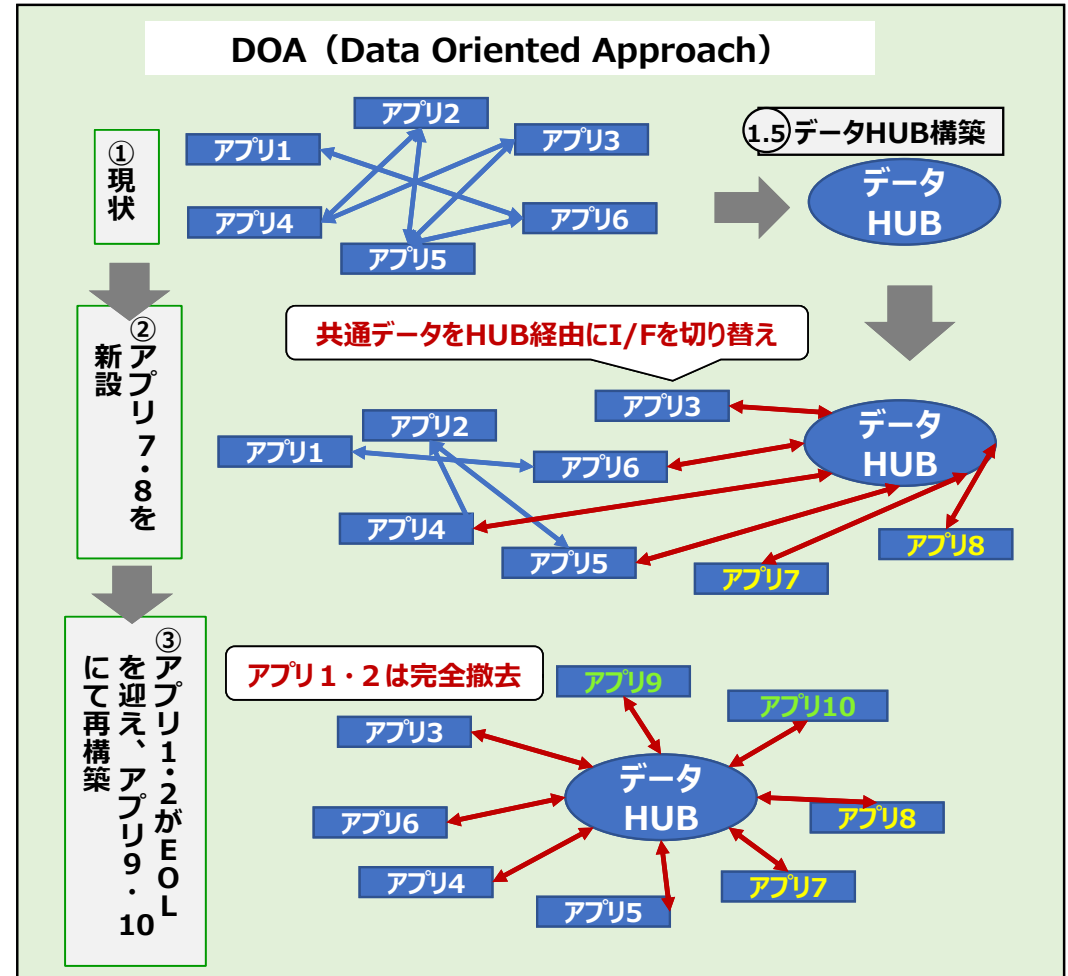
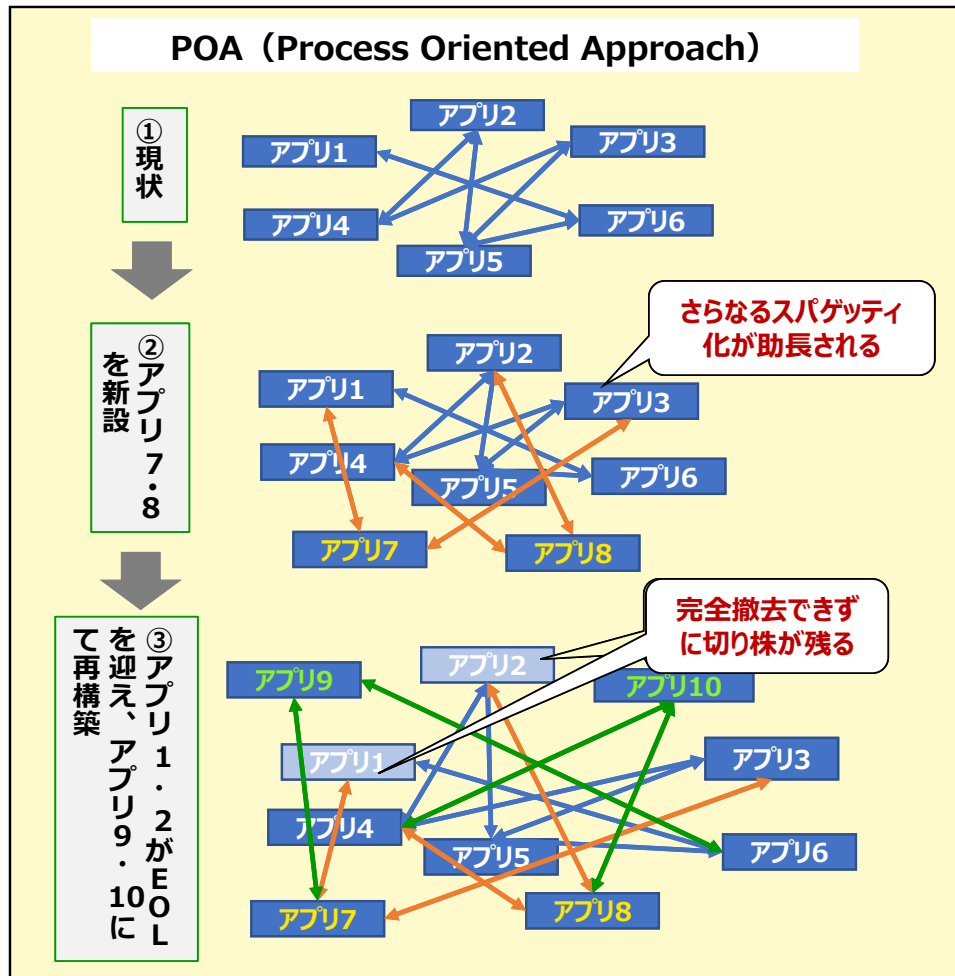
整合性
管理

時系列管理



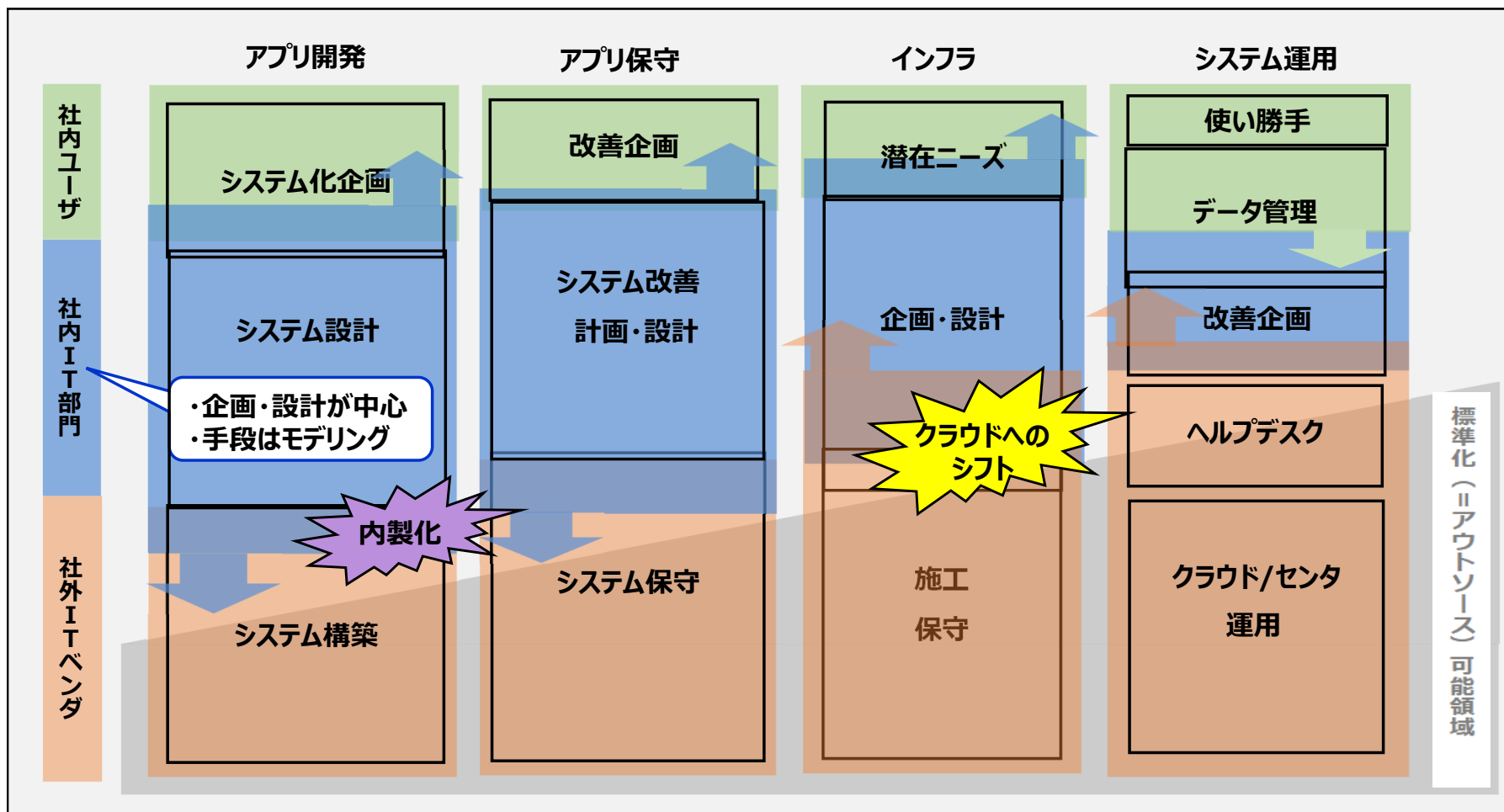
【 8章 EAの移行計画 -2】

無秩序なPOAと、計画的DOAの行く末



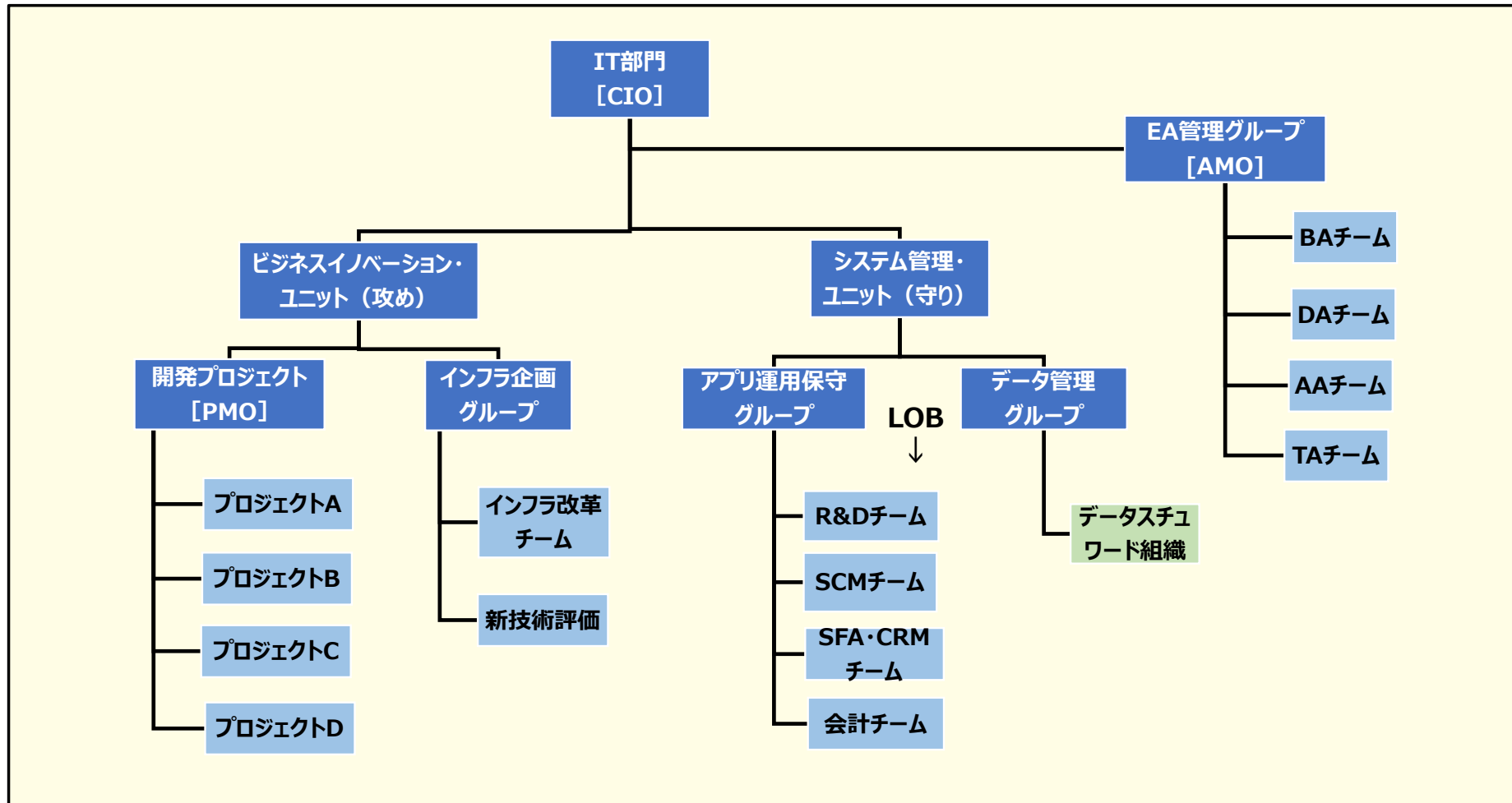
【 9章 次世代IT部門の組織 -1】

社内IT部門のパートナーとの役割分担（方向性）



【 9章 次世代IT部門の組織 -2】

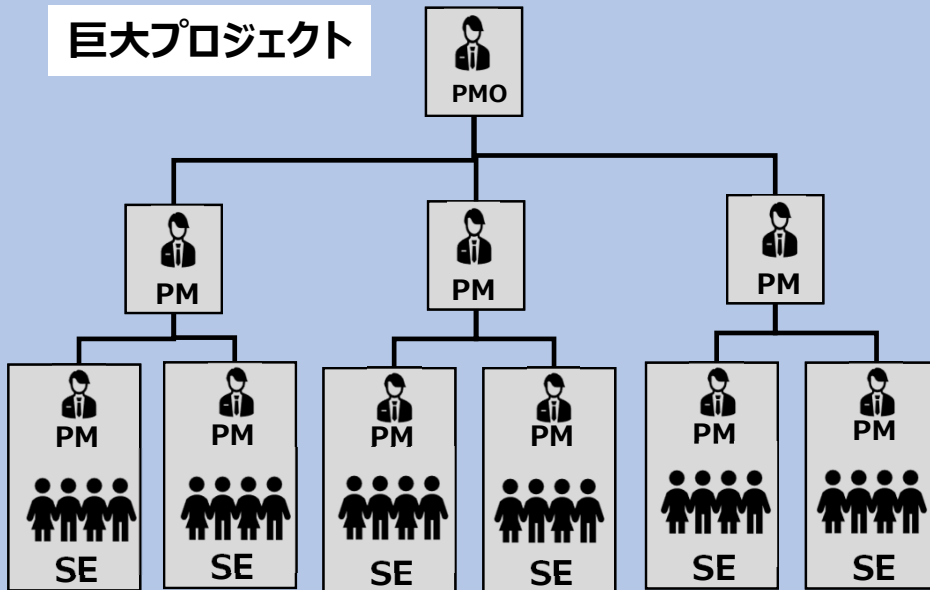
次世代IT部門の組織体制（攻め+守り+EA）



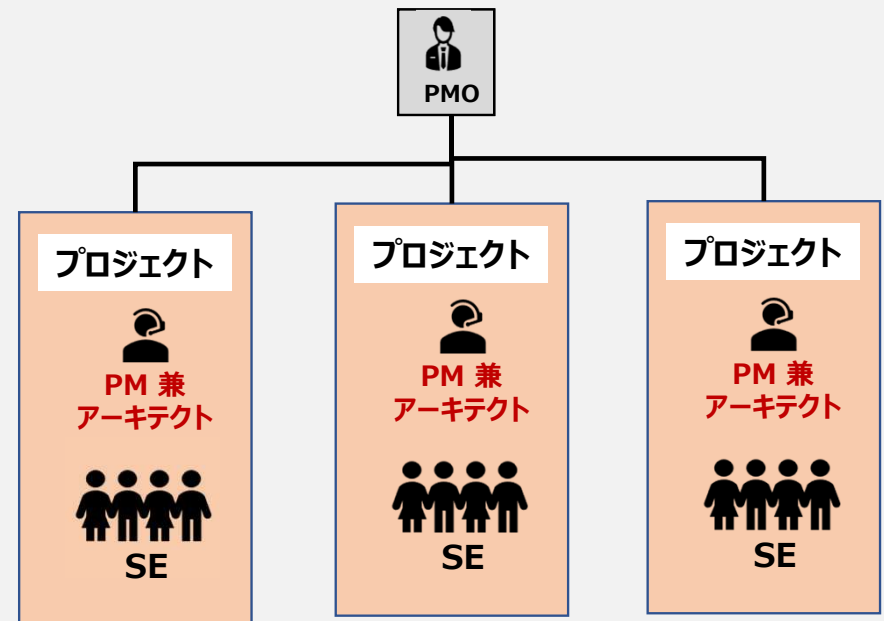
プロジェクトマネージャ 兼 ITアーキテクトの育成

人海戦術型 (PM過多)

巨大プロジェクト



スピード重視型 (PM兼アーキテクト)



IT部門社員に必要となる知識とスキル

